

## GAP生 採用通知書授与式

2023年4月5日に横浜・金沢八景キャンパスで、国際文化学部 英語文化学科のGAP採用通知書授与式が行われました。GAP（Global Awareness Program）は、2023年度4月にスタートした特別プログラムです。卒業単位の60パーセント以上を英語による授業で修得できるカリキュラムを通じて、国内外で協働するグローバル人材を育てることを目的としています。

「GAP生採用通知書授与式」の司会進行役を務めたのは本プログラムの名付け親で、授業も担当される村岡美奈先生です。



開会宣言後、英語文化学科長の萩原美津先生から第一期GAP生に「GAP採用通知書」が授与されました。栄えある初代GAP生に採用されたのは、指定された入学者選抜試験と入学後のプレイスメントテストの成績上位者から選考された11名です。

授与式では萩原先生と英語文化学科のネイティブスピーカーの三人の先生方、アラン・ボツフォード先生、ジェイソン・パイプ先生、デヴィッド・ヒース先生、そして四條真也先生から、それぞれ激励のメッセージが贈られました。

（ボツフォード先生とパイプ先生のスピーチは日本語に翻訳してあります）



### 英語文化学科長からのメッセージ：

キャンパスのある金沢八景は、今から150年以上前の1867年パリ万博で、西洋に一大ブームを巻き起こした浮世絵の影響により、国内外で古くから広く知られてきた場所です。世界に向けて早くから開かれていたこの金沢八景で、他国・自国の文化や言語について学び、日本と世界をつなぐ架け橋、Cultural Ambassadorとして皆さんが活躍されることを期待しています。



## アラン・ボツフォード先生からのメッセージ

言葉と文化について学ぶと、人生に深い価値観をみいだせるようになります。そしてコミュニケーション力とクリティカルな分析力を身につければ、将来、リーダーシップを発揮できる職業に就くことも可能になるでしょう。GAPプログラムで提供される様々な学びのチャンスを活かして、自身が思い描く未来へと羽ばたいていってください。

## 4月に赴任されたジェイソン・パイプ先生からのメッセージ

皆さん、緊張されているようにお見受けしますが、長年、教鞭に立ってきたわたしもいまだに緊張します。緊張はしてしまうものですが、自分に自信を持つことも (to be confident) ととても重要です。GAPプログラムの学びを通して自分への自信を深めていきましょう！



## デヴィット・ヒース先生からのメッセージ

初代GAP生である皆さんはこのプログラムのパイオニア、開拓者でもあります。この4月から八景キャンパスに移転した英語文化学科とともに、自らの新たな領域 (territory) を切り拓いていってください。教職員一丸となって皆さんをサポートしていきたいと思っています。

## 四條真也先生からのメッセージ

国際文化学部には、ここにいるGAP担当教員以外にも、海外経験が豊富な先生方がたくさんいます。これから留学するにあたり、外国での生活で心配なことがあれば、ぜひ色々な先生の話聞きに行ってみてください。きっと留学生生活を送るためのヒントを教えてください。私もGAPのサポート教員として、皆さんのお手伝いをしたいと思っています。



GAP生 採用通知授与式に続き、村岡先生によるGAPプログラムのガイダンスが実施され、学生は熱心に聞いていました。今後のGAP生の活躍が期待されます。

**GAP特設サイトはこちら**



<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/topics/gap.html>